

2021年度 第44回 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会水球 【戦評】

会場：千葉県国際総合水泳場 【2022/3/30】

この試合のプレー集計

A3位

大垣市水球

2

0	—	0
1	—	2
0	—	0
1	—	2

4

エル・アテインSS
長浜

PSO

審判： 森下 正樹
 榎淵 祐希

大垣市水球	15	SH数	13	エル・アテインSS長浜
	1	速攻数	0	
	4	ST・SB	6	
	2	SH・P誘発アシスト	1	
	33%	GK阻止率	67%	
5	EX反則数	3		

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
大垣市水球	69	18	14	15	19	33	3	9	10	52.4%

(7試合計)

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
エル・アテインSS長浜	69	37	17	17	36	47	1	12	15	44.4%

(7試合計)

【試合の流れ】

僅差の試合の連続を試合運びのうまさで勝ち上がってきた大垣。得点源となるレフティー⑤野村、⑩川合の2枚看板だが、ディフェンス面でもボール接点の強さが目立つ。一方の長浜は、エース③打木が大半の得点をたたき出すイメージがあるが、ボール接点でのディフェンスにも注目。

1P

双方がゴール前を固め、ややディフェンシブな試合運びで序盤が進んだ。大垣の遠目SHも長浜GKセーブで得点を許さず、長浜は攻撃時の反則でなかなかリズムが作れず、シュートにまで至らない展開で大垣0-0長浜で第1ピリオド終了。

2P

長浜が⑬五井のセンターSHで先制し、大垣のSHミスについて⑬五井がセンターで追加点。対する大垣は⑤野村から⑩川合のホットラインでペナルティを得て、1点を返す。このあたりから大垣は長浜の③打木にダブルマークでチャンスを作らせない展開となった。双方に決定的な場面が現れず、大垣1-2長浜というロースコアの接近戦の様相を呈して前半を折り返した。

3P

両チームともに相手エースにダブルマークを敷いて決定機を与えず、一進一退の攻防が続いた。大垣のシュート力のある⑤野村のシュート位置がやや遠目になっていたが、それだけ長浜のディフェンスが効いていた形。このピリオドは双方無得点で勝負の行方は最終ピリオドへ持ち越された。

4P

大垣⑤野村がようやくシュート圏内からのストレートを決めて2-2の同点に持ち込んだが、長浜は左利きの⑬五井が右サイドから持ち込んでシュートを決めて突き放した。さらに大垣のシュートミスから長浜攻撃でペナルティを得て追加点を奪い、残り時間の使い方のベンチワークにも妙があり、長浜が試合巧者ぶりを発揮して3位を決めた。